

平成23年度国民保護簡易型図上訓練（DIG形式）実施概要

～中河内地域・三島地域計8市町・消防機関と府警察が参加～

《実施目的》

- ・ 国民保護に係る知識向上や事態想定、手順の確認等の対応力の向上
- ・ 住民避難のイメージ力の向上
- ・ 地域における消防・警察・行政の連携強化

《参加機関》

市・消防機関
大阪府警察
大阪府

《実施日・実施場所》

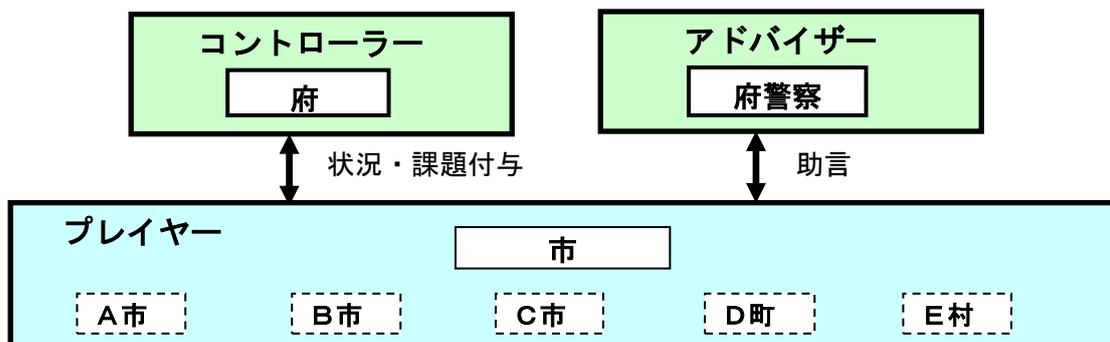
- ・ 中河内地域
平成24年2月13日（月）午後1時～午後4時30分 大阪府中河内府民センター
- ・ 三島地域
平成24年3月23日（金）午後1時～午後4時30分 大阪府三島府民センター

《主な訓練項目》

- ・ 第1ステージ 国民保護上の地域特性について（地図への関連施設の標示、地域特性分析）
- ・ 第2ステージ 地域で想定される国民保護事態について（被害等想定、対応策検討）
- ・ 第3ステージ 事例に基づく対応手順について（住民の避難に関する具体的対応策の検討）
* 訓練に先立ち、住民避難のパターン等の作成について説明。

《訓練の方法等》

- ・ 簡易型図上訓練（DIG）※
※ DIGとは、Disaster（災害・危機）、Imagination（想像・想定）、Game（ゲーム）の頭文字をとったものであり、被害状況等を地図上に分かりやすく落とし込み、コントローラーが災害発生時の天候・時刻等の状況を付与し、それに対してプレイヤーが知恵を出しあって対応・実施手順を討議・発表する訓練である。
- ・ 今回の訓練体制



- ・ 府が状況・課題を付与し、府警察が助言を行う。
- ・ 市町村・消防の各テーブルに府警察（地域警察署）も同席し、討議・発表を行う。

<訓練の様子>

□中河内地域



□三島地域

